

オール甲賀で考える

甲賀の未来

タウンミーティング 市長と語り合う！

まちづくりの課題や問題などについて、広く市民の皆さんから市長が直接意見を伺う場として、タウンミーティングを開催しました。

今回は、「財政見直し」「公共施設のあり方」をテーマに、市民の皆さんが感じていることについて意見交換をした後、発表していただきました。

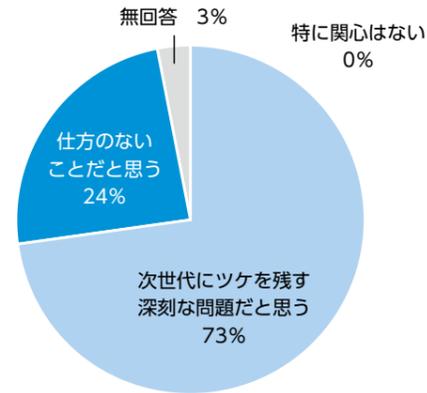
※各地域ラウンド、まとめラウンドを含め、6回開催し、247名の方にご参加いただきました。



タウンミーティングでのアンケート結果概要

今回のタウンミーティング(各地域ラウンド5会場)に参加いただいた227人のうち183人から回答をいただきました。

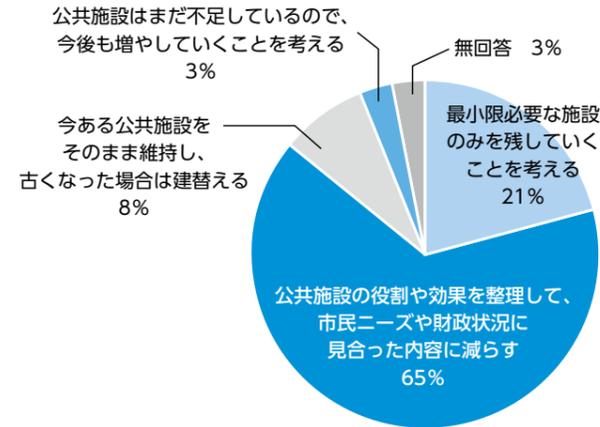
Q 公共施設の老朽化が進み、今後必要となる維持管理費をどう思いますか。



ポイント

回答者の7割以上が公共施設の老朽化や維持管理費用の問題に危機感を感じています。

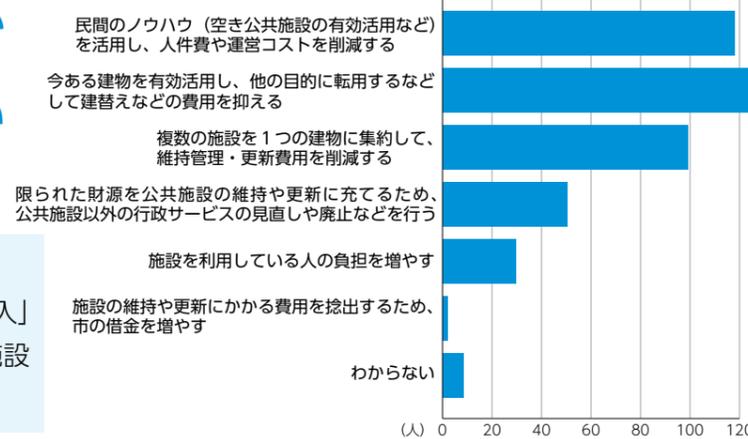
Q 今後の公共施設の整備や管理運営をどのように進めるべきでしょうか。



ポイント

回答者の8割以上が公共施設の見直しはやむを得ないと考えています。

Q 今後の公共施設の維持管理にかかるコスト削減や財源確保を、どのように進めるべきだと思いますか。(複数回答可)



ポイント

「既存建物の有効活用」や「民間活力の導入」を選択された方が多く、少ないのは、「施設を維持するため、借金を増やす」でした。

市民の皆さんからいただいた主な意見

- Q 施設の統廃合は一定必要。ただし、一極集中ではなく、バランスをとってまとめてみては。
- A 「一極集中型」ではなく、「多極型」で考える必要があります。旧5町それぞれ違う、住民の行動範囲、買物、医療機関の配置など、官民合わせた「暮らしの拠点機能」として考えます。
- Q 年齢によって利用する施設が違うので、例えば「家族」といった視点で議論しては。
- A 特定の世代のみが利用する公共施設は、利用者が限定されるため、できるだけ多世代で利用できる機能を複合化することで、多世代交流を実現することも、「コスト低減を実現することができません。」
- Q 施設へのアクセス整備が必要。「コミバスをコミタフへ。」
- A 生活圏から距離があるなど、徒歩での利用が困難な施設もあります。コミニティバスをより利便性の高い仕組みに変えていきます。一方で、高齢者人口が増えていく状況においては、より利便性の高い場所に移転、複合化することも視野に入ります。
- Q 女性や20〜30代の若者の考えや思いをアウトプットして、本堂に「全市民」で今後の甲賀市を考えていかなければいけないのでは。
- A 女性や若者の参加を促すための手法について検討するとともに、「オール甲賀」で議論ができる環境づくりに努めていきます。
- Q 旧町単位で話し合うのではなく、垣根を越えて検討しては。
- A 地域によっては、旧町単位ではなく、町域を跨いだ公共施設利用のほうが利便性の高いケースもあります。スクールメリットを活かした公共施設の統廃合も検討します。
- Q 民間と共存するため、施設の役割を確認しては。
- A 過去に整備された公共施設については、その後、民間事業者が参入するなど、現在の社会情勢に合わない施設もあるのかもしれない。民間でできることは民間にお願いするなど、役割分担の見直しを進めます。
- Q 旧町単位で話し合うのではなく、垣根を越えて検討しては。
- A 地域によっては、旧町単位ではなく、町域を跨いだ公共施設利用のほうが利便性の高いケースもあります。スクールメリットを活かした公共施設の統廃合も検討します。

市民と共に考える 公共施設の 最適化に向けて

現在、公共施設の最適化(施設再編)の方向性とスケジュールを示す「公共施設の最適化計画」の策定に取り組んでいます。

今回のタウンミーティングでいただいたご意見やアンケート結果などを参考としながら、策定を進めていきます。

今後も、市民の皆さんと行政が直接対話できる場を設定して、個々の施設を、具体的に「これからどうしていくのか」について意見交換を行いますので、市民の皆さんの参画をお願いいたします。

●問い合わせ●
財政課 マネジメント推進室
63-45561
69-2124